



市制施行55周年
君津市

君津市市制施行55周年記念事業
君津市民文化ホール開館35周年記念事業

令和8年度
県民芸術劇場君津公演

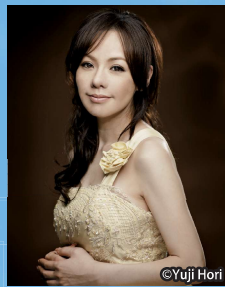
～人が輝き幸せつなぐ～

真夏の第九演奏会

日本屈指のソリストと、真夏の第九合唱団による
華やかなる競演!



山下一史
【指揮】



森 麻季
【ソプラノ】



林 美智子
【アルト】



西村 悟
【テノール】



平野 和
【バス・バリトン】

ベートーヴェン：歌劇「フィデリオ」序曲

ベートーヴェン：交響曲第9番 二短調 作品125「合唱付き」



管弦楽：千葉交響楽団

合唱：真夏の第九合唱団

(合唱指導：櫻井 淳)

(コレペティトゥア：石野真穂)

令和8年 7月26日

君津市民文化ホール 大ホール

開演 14:00 開場 13:00 全席指定 5,000円

◆13:45 より、山下一史氏によるプレトークを開催します◆

〈プレイガイド〉

●君津市民文化ホール ☎0439-55-3300

●ローソンチケット

<http://l-tike.com/> (Lコード 31635)

【問合せ】君津市民文化ホール ☎0439-55-3300

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※車椅子をご希望の方は君津市民文化ホールまでご連絡ください。

※無料駐車場830台完備

主催 千葉県 / 君津市
公益財団法人君津市文化振興財団 / 虹の音楽会

後援 安房・上総地区吹奏楽連盟 / 株式会社コンドー楽器

協力 NPO法人智志野第九合唱団



【ロビーイベント ～松本ピアノウェルカム演奏～】

時間 13:00 ～ 13:30

開場時に、ロビーにて君津ゆかりの松本ピアノを演奏いたします。
松本ピアノは、明治期に千葉県君津市出身の松本新吉氏が創業し、
「山葉」「西川」と並び、日本3大ピアノメーカーと称されました。
職人による手作業で生み出された「スイート・トーン」と呼ばれる
柔らかく甘い音色をお楽しみください。



令和8年度 県民芸術劇場君津公演

真夏の第九演奏会

日本屈指のソリストと、真夏の第九合唱団による華やかなる競演!

Conductor

千葉交響楽団音楽監督 / 指揮 山下 一史 Kazufumi Yamashita

1977年桐朋学園高校音楽科に入学。チェロを井上頼豊氏に、指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、森正の各氏に師事。1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学。1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。1985年12月からカラヤンのアシスタントを務め、1986年、急病のカラヤンの代役として急速にジーンズ姿のまま「第九」を指揮し、話題となった。その後、スウェーデンのヘルシンボリ交響楽団の首席客演指揮者を務めた。

日本国内では1988年にNHK交響楽団を指揮してデビュー。オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九州交響楽団常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者、仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者、同団正指揮者を歴任。2016年4月、千葉交響楽団音楽監督に就任。「おらがまちのオーケストラ」をキャッチフレーズに、定期演奏会や音楽鑑賞教室を指揮、県民に愛されるオーケストラを目指し、千葉響の評価を着実に高めている。また、東京藝術大学音楽学部指揮科教授として後進の育成にも尽力している。

愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団名誉指揮者。



ソプラノ 森 麻季 Maki Mori

Soprano

東京藝術大学・同大学院、文化庁オペラ研修所を経てミラノとミュンヘンに留学。ブラジド・ドミンゴ世界オペラコンクールなど数々の国際コンクールで上位入賞を果たしました。1998年の米国デビュー後、ドレスデン国立歌劇場やトリノ王立歌劇場に出演し国際的評価を確立。近年もBCJオペラシリーズや、2024年バーミンガム市響『蝶々夫人』のタイトルロールで喝采を浴びるなど、透明感溢れる美声と深い音楽性で聴衆を魅了し続けています。現在は後進の育成にも尽力し、出光音楽賞やホテルオーケストラ音楽賞を受賞。



アルト 林 美智子 Michiko Kagashi

Alto

東京音楽大学卒業後、新国立劇場オペラ研修所第1期を修了。文化庁派遣研修員としてミュンヘンへ留学し、国際ミトロプーロス声楽コンクール最高位やホテルオーケストラ音楽賞を受賞しました。二期会や新国立劇場を中心に活躍し、近年も『ドン・ジョヴァンニ』エルヴィーラ役などで圧倒的な存在感を示しています。名指揮者との共演に加え、自らオペラをプロデュースするなど多才。CDも精力的にリリースしており、現在は大阪音楽大学特任准教授や日本大学講師として、後進の育成にも尽力しています。



テノール 西村 悟 Satoshi Nishimura

Tenor

日本大学芸術学部卒業、東京藝術大学大学院修了。日本音楽コンクール第1位、イタリア声楽コンコロソ・ミラノ大賞など、数々の主要コンクールを受賞。2016年、大野和士指揮バルセロナ交響楽団との共演で欧州デビューし、現地紙で絶賛されました。オペラでは『ラ・トラヴィアータ』や『ラインの黄金』ローゲ役で存在感を示す一方、国内外の名門楽団と宗教曲や交響曲で共演。近年は仲道郁代氏とのドイツ歌曲公演でも高い評価を得ています。2024年より日本大学芸術学部にて後進の指導にあたる。五島記念文化賞、出光音楽賞を受賞。藤原歌劇団団員。



バス・バリトン 平野 和 Yasushi Hirano

Bass-Baritone

日本大学芸術学部、ウィーン国立音楽大学および同大学院オペラ科を首席で卒業・修了。グラーツ歌劇場でデビュー後、ウィーン・フォルクスオーパーの専属歌手として、14シーズンで約500公演に出演。ウィーン楽友協会、ベルリン・フィルハーモニーなど主要な会場で客演し、著名指揮者との共演多数。大阪関西万博では『1万人の第九』のソリストを務め、圧巻の歌唱で聴衆を魅了。欧州での豊かな経験を糧に、国内外で着実に活動の場を広げています。録音ではシューベルト「冬の旅」(日本アコースティックレコーズ)を2023年にリリース。

千葉交響楽団

千葉交響楽団は、1985年4月に「ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉」として発足し以来41年間、県内唯一のプロのオーケストラとして、音楽文化の創造・発展を使命とし、地域に根差した音楽活動を続けております。

定期演奏会をはじめ、県民芸術劇場や各地での演奏会など、毎年およそ50回のコンサートで演奏し、千葉県の音楽文化の向上に努めています。また、千葉県及び各市町村教育委員会の共催事業である「小中高等学校音楽鑑賞教室」や特別支援学校への訪問演奏を、年間100校ほど実施し、児童生徒に生のオーケストラの持つ素晴らしいハーモニーと迫力を届け、音楽教育にも多大な貢献を果たしています。

2016年4月からは山下一史氏を音楽監督に招聘し、同年10月に名称を千葉交響楽団に改め、同氏の指導のもと演奏水準のさらなる向上に取り組み、その新鮮で熱気あふれる演奏は高い評価を得ています。

山下体制3期目は、多くの千葉県民に「おらがまちのオーケストラ」と親しみを持って呼ばれ、これまで以上に地域に尽くし、地域に支えられ県民が誇れるオーケストラとなるよう活動を進めています。

真夏の第九合唱団

一般公募にて結成した合唱団。初めて第九を歌う方から、第九ベテランの方、そして子どもたちを含めた約320名で構成された合唱団。4月から練習を開始し桜井淳氏の指導のもと、心をつなげて歌い上げる。